

公開講演会のご案内

慶應義塾大学・スーパーグローバル事業の一環として招聘されるドミニク・カリファ氏（パリ第1大学教授）の講演会を下記のように開催します。カリファ氏は、近代フランスの社会史・文化史が専門で、特に犯罪、警察・司法制度、メディア、大衆文化などについて多くの著作を刊行しています。主著の一つが最近邦訳されました。今回の講演では、19世紀～現代のパリにおける犯罪と治安の問題を中心にお話いただきます。昨年来のフランスのテロ事件についても言及がなされるでしょう。

主要著作は次のとおり。

L'Encre et le sang. Récits de crime et société à la Belle Époque, Fayard, 1995.

Naissance de la police privée, Plon, 2000.

Crime et culture au XIX^e siècle, Perrin, 2005. 邦訳：『犯罪・捜査・メディア—19世紀フランスの治安と文化』、梅澤礼訳、法政大学出版局、2016年。

La Civilisation du journal, en collaboration, Nouveau Monde Éditions, 2011.

Les Bas-fonds. Histoire d'un imaginaire, Seuil, 2013.

当日はカリファ氏の講演の後、議論と質疑応答に十分な時間を取る予定です。参加についての事前のご連絡は不要ですので、お気軽にご参加ください。

記

Dominique Kalifa

(Professeur à l'Université Paris I Panthéon-Sorbonne)

Le Paris de la misère et du crime

「貧困と犯罪のパリ」

司会：小倉孝誠（本塾文学部教授）

日時：2016年12月1日（木）17:00—19:00

使用言語：フランス語（通訳あり） 入場無料

Jeudi 1^{er} décembre 2016, 17h00-19h00, en français, entrée libre

場所：慶應義塾大学 三田キャンパス 研究室棟1階、A会議室

Université Keio, Campus de Mita

主催：慶應義塾大学文学部 仏文学専攻

スーパーグローバル事業

共催：慶應義塾大学藝文学会、自然主義文学研究会

問合せ先/Contact：小倉孝誠 E-mail: ogura@flet.keio.ac.jp